

# 教科【音楽】・種目【一般】

書名 項目	<h2>中学音楽 音楽のおくりもの</h2>	17  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">教 出</div>
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「まなびリンク」にアクセスし、演奏の視聴ができる。(目次にあるQRコードを利用)</li> <li>○「Let's Sing!」「Let's Try!」では表現するための技能を分かりやすく提示している。</li> <li>○全学年で28の「学びユニット」が設定されており、学びのねらいや学びの手がかりとなるヒント、他の題材との関連が一目で分かるよう、示されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞教材では、譜例を豊富に掲載し、分かりやすい説明文をつけている。</li> <li>○「ACTIVE!」で具体的な学習内容を丁寧に示し、「話し合おう」では、自分の考えや見方、感じ取った曲想などをまとめて交流することができ、音楽を聴き深め、価値を考えられるように工夫されている。</li> <li>○創作活動において、「音のスケッチ」「もっと楽しもう」など、多様で体験的、発展的な学習活動が展開できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「何が同じで、何が違う?」のページで共通性と固有性を考えさせ、特徴を理解できるようにワークシート欄を設けている。</li> <li>○主要部分とオプション部分を組み合わせることで、多様な対応ができるように工夫されており、「歌のアルバム」では、様々な教材が掲載されている。</li> <li>○コンピュータの活用やポピュラー音楽図鑑、コードネーム表、指揮の仕方、音楽著作権について等、音楽に関する様々な情報が載せられている。</li> </ul> <p><b>&lt;生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱、器楽、創作、鑑賞の全ての学習を通して、我が国や郷土の伝統音楽、アジア地域の諸民族や諸外国の様々な音楽について親しみをもてるよう、地図や楽譜、写真で示し、伝統的な歌い方等を実際に体験できるように配慮している。</li> <li>○共通教材を「日本の歌 みんなの歌」とし、見開きに情景を思い浮かべやすいよう、大きな写真を掲載している。</li> <li>○音や音楽と生活や社会との関わりから、音楽に関する知的財産権を取り上げ、具体的で的確な事例を示すことによって理解が深まるよう工夫されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャラクターによるヒントの言葉が随所に示されている。</li> <li>○巻末に折込を入れ、ワイドなビジュアル図鑑として様々な楽器の写真や様々な舞台芸術の写真、楽典のページを掲載している。</li> <li>○口絵の「作者の思いにふれる」で作者の自筆譜が大きく掲載され、間近に触れることができる。</li> </ul>	
表記 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽史の時代区分を全ての鑑賞教材のページ右側に示し、学習効果を高める工夫がある。</li> <li>○巻頭にWEBリンク(見る・聴く・記録する)を設定し、主体的な学びができる工夫をしている。</li> <li>○各教材のページの右下に[共通事項]の主要な記号や用語が掲載されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今日的課題である“SDGs”との関連教材を取り入れている。</li> <li>○和楽器や唱歌などを取り上げ、鑑賞の学習を表現活動に生かすことができるようにしている。</li> <li>○国歌「君が代」について歌詞の大意が示されており、日本の和紙を思わせるような質感を用い、伝統と文化を尊重し、他国を尊重する態度を育むように配慮されている。</li> <li>○判型はAB変型であり、カラーユニバーサルデザインによって、文字や写真、挿絵の見やすさに配慮されている。</li> </ul>	

# 教科【音楽】・種目【一般】

書 名 目 目 録	<h2 style="font-size: 2em;">中学生の音楽</h2>	27  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">教 芸</div>
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年間の学習内容が一目で分かる“学びの地図”が最初に配置され、さらにその3色の色分けは各題材ページにも同色が使われているため、分かりやすい。</li> <li>○各題材に「学習目標」「具体的な活動」「[共通事項]」が記載されており、分かりやすい紙面構成で何を学ぶかを意識することができるように工夫されている。</li> <li>○「My Melody」「Let's Create!」を設定し、創作の学習内容や活動の手順、個人やグループの活動場面を示し、段階を追って学習に取り組む教材が選択されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャラクターの吹き出しをヒントに、グループ学習においてどのようなことを話し合ったらよいかを例示し、より深まりのある言語活動や協働的な学びが促せるようになっている。</li> <li>○「深めよう！音楽」のページにワークシートを設定し、活動の手順が示されている。</li> <li>○1年間で学んだ内容を生かし、「みんなに進めたい1曲」をプレゼンすることでどのような資質・能力が身についたか確認することができる。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各界の専門家からのメッセージやアドバイス・解説を紹介し、生徒がより主体的・対話的に学びに向かうことができるよう工夫されている。</li> <li>○指揮やリズム打ち、唱歌など、体験活動が取り入れられており、実感や親しみをもって学習をすすめられるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○様々なジャンルの音楽を幅広く、例を挙げて紹介し、音楽文化への興味関心を引き出せるよう工夫されている。</li> <li>○中学生が地域の人たちと協力しながら、祭りや芸能に携わる様子が写真やコメントで紹介され、自分たちの住む地域にも目を向けやすくなるように工夫されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教材が見開きで一つになっていて見易い配置になっている。</li> <li>○「耳でたどる音楽史」では、時代の流れが一目で確認でき、写真が多く、作品についてはCDのマークに曲名が示されている。</li> <li>○ページの所々にQRコードを掲載し、主体的に調べることができる工夫がある。</li> </ul>	
表記 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○題材ページの端に、学習する音符や記号とその掲載ページが示され、学習しやすい。</li> <li>○1年間で学習した「音楽を形づくっている要素」が1ページに簡潔にまとめられている。</li> <li>○音符・休符・記号・用語等が「音楽の約束」として1ページにまとめられ、見やすくなっている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳教育や人権教育等の観点から、「希望と勇気・克己と強い意志・友情・信頼・自然愛護・礼儀・よりよく生きる喜び・国際理解」などについての歌詞や写真、メッセージが示されている。</li> <li>○国歌「君が代」では、歌詞の大意が示されており、伝統と文化を尊重し、他国を尊重する態度を育むように配慮されている。</li> <li>○義務教育9年間の系統的な学びで資質・能力を育めるように工夫されている。</li> </ul>	